



串木野中学校教頭通信

Kyo to correspondence

～当たり前のことを当たり前～

第44号

令和6年 2月29日(木)

いちき串木野市立串木野中学校教頭
文責 長岡

「去る」月スタート！

2月最後になる教頭通信,,いよいよ来週からは「猿月」…いやいや(笑)「去る」月がスタートします。

日本では旧暦3月を弥生と呼び、現在は新暦3月の別名としても用いています。弥生の由来は、草木がいよいよ生い茂る月「木草弥や生ひ月(きくさいやおひづき)」が詰まって「やよひ」となったという説が有力です。

いよいよ現在の学年終了(修了)までの時間も迫ってきています。筑波大学の心理学の教授で海保博之さんという方がいました。その方がいうには、人間は三つの時間に囲まれて生活している(あくまで説です)と…

すなわち…

生物時間 **時計時間** **心理時間** であります。

生物時間というのは、夜になれば眠くなり、朝になれば起きるというような生物そのものが持っている時間です。**生物時間**であるから、人間以外の動物にもあります。

しかし、次の二つは動物にはなく、人間だけにあります。**時計時間**は、それぞれ時計の上を進んでいく時間です。一日は二十四時間、一時間は六十分。これは、地球上に生活する人間には客観的に同じ長さの時間となっています。

そして、**心理時間**です。3年生に今年度を振り返って、「長かった人、こんなもんだろう、短かった人」と手を挙げてもらうと、圧倒的に「短かった人」が多くなります。ところが、同じ質問を1年生ですると、これまた圧倒的に「長かった人」が多くなります。串木野中学校で同じ**時計時間**を過ごしていながら、感じ方は逆になっている…この心で感じる時間のことを**心理時間**といいます。

一般的に、**心理時間**で短いと感じるときは、その人の活動が満たされていることが多いです。つまらないと感じている授業の時間がなかなか過ぎていかないのに、面白いテレビゲームは気がつけば二時間もやっていることがあるという…あの感覚です。

さて、目まぐるしく過ぎていった1月、2月…充実していたのでしょうか?いよいよ、0学期(3学期)も終盤となる3月のスタートです。3年生は一般入試に向けて、頑張っているのでしょうか?串木野中学校での生活もあとわずかですので、3年間生活してきたこの校舎に対して、感謝の気持ちを持って生活しましょう!1・2年生がその姿を見えています。

「時」の歩みは三重である。
未来はためらいつつ近づき、
現在は矢のように速く飛び去り、
過去は永久に静かに立っている。